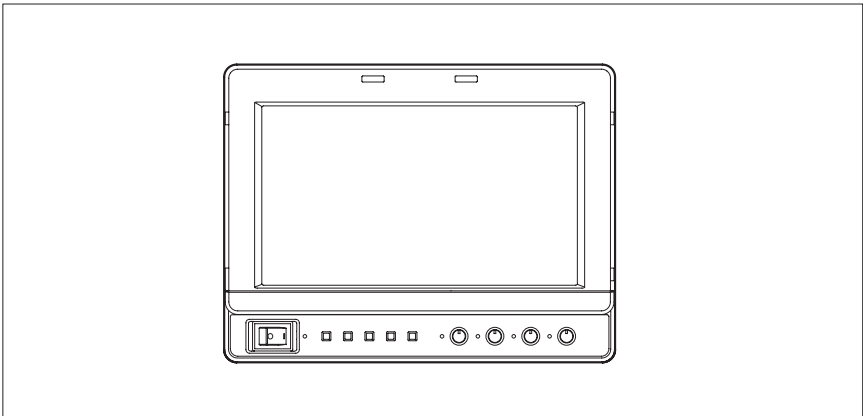


取扱説明書

LCD ビデオモニター

品番 BT-LH80W



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「**安全上のご注意**」(→3～7ページ)を**必ずお読みください**。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

付属品	2	メインメニュー	18
別売品	2	メニュー構成	18
安全上のご注意	3	MARKER	19
使用上のご注意	8	MARKERの種類	20
概要	9	VIDEO CONFIG	21
寸法図	9	SYSTEM CONFIG	23
各部の名称と機能	10	VF CONFIG	24
前面	10	FUNCTION	25
後面	11	GPI	30
電源について	12	INPUT SELECT	31
アontonパワータイプのバッテリー使用	12	CONTROL	32
Vマウントタイプのバッテリー使用	12	HOURMETER	32
外部DC電源の使用	12	REMOTE仕様	33
VF機能	13	GPI端子	33
オンスクリーンメニューの操作	14	RS-232C端子	34
動作ステータス表示	14	RS-232CのREMOTE制御方法	34
画像調整つまみの状態	14	保守点検について	37
シャープネス表示	14	保証とアフターサービス	37
FUNCTION表示	15	修理を依頼されるとき	37
DC電源電圧とバッテリー残量表示	15	エラー/警告表示	38
メニュー表示	15	お手入れについて	38
メニュー操作	16	定格	38
ユーザーデータ	17		
ユーザーデータの保存	17		
ユーザーデータの呼び出し	17		

付属品

- バッテリー取り付け端子台（ビス（M3×4）2本付属）×1
- ビススパーサー（本体に装着済）×1




別売品

- SDIインプットユニット BT-YA80G
- VFケーブルセット BT-CS80G
（DCケーブルも含まれています。→13ページ）




安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険



充電するときは、必ずバッテリーパックメーカー指定の充電器を使用する

指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。



適合外のバッテリーパックを使用しない
火中に投入したり、加熱したりしない
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解したりしない
火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない
バッテリーパックの端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

●バッテリーパックの説明書をお読みの上、正しくお使いください。

警告



付属品・オプションは、指定の製品を使用する

本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。



表示された電源電圧以外は使用しない

火災や感電の原因になります。



指定のカバー以外は外さない

火災や感電の原因になります。火災や感電の原因になります。

●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止



コード・プラグが破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



DCケーブルの電源プラグは、根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。



異常があったときは、バッテリーを外す

●内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき

●落下などで外装ケースが破損したとき

●煙や異臭、異音などが出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

●外部DC電源で使っている場合は、DCケーブルを外してください。

●販売店に相談してください。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

 **警告** (つづき)



水場で使用しない

火災や感電の原因になります。

水場使用禁止



雷が鳴り出したら、本機の金属部や外部DC電源などの電源プラグに触れない

落雷すると、感電につながります。

接触禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止



外部DC電源を使用するときは、DC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する

誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。詳しくは12ページを参照してください。



乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

⚠ 注意



長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCケーブルを外す

電源プラグを抜く
火災や感電の原因になります。



コードを接続した状態で移動しない

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。



本機の放熱を妨げない

●押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください

●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください

●横倒し、逆さまにしないでください

内部に熱がこもり、火災の原因になります。



直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。



本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

●落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。

●重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

 **注意** (つづき)



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。



DCコードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
●必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。



不安定な場所で、三脚を使わない

倒れると、けがの原因になります。



使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する
けがや事故の原因になります。



飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

使用上のご注意

この商品は業務用として特別に設計されたものです。専門知識を持った方が操作してください。

- 液晶部は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯（赤、青、緑）するものがあります。これは故障ではありません。
- 液晶保護パネルは特殊加工をしております。固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 長時間静止画像を映したままにしておくと、一時的な残像（焼き付き）が発生する場合があります。（なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。）
- 液晶の応答速度や輝度は環境温度によって変化します。
- 狭いところで使用すると、内部に熱がこもり正常に機能しなくなる場合があります。設置するときは、まわりに十分な空間を取ってください。
- 液晶表示部に強い光が照射されると特性が劣化し、表示品位低下の要因となりますのでご注意ください。
- 温度変化の急激な環境では、液晶表面および内部に結露が発生することがあります。表示品位の低下および故障の原因となりますのでご注意ください。
- 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- 本機を温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



Ni-MH
Ni-Cd
Li-ion

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルにご協力ください。

概要

BT-LH80Wは、7.9V型（有効表示部）液晶を搭載した薄型・軽量な放送業務用液晶モニターです。パナソニック製放送業務用カメラのVF（ビューファインダー）としてご使用いただけます。

■新IP変換回路を搭載し、回路処理による遅延時間を大幅に圧縮

フィールド単位の遅延を発生させることなくSDおよびHDインターレース信号を高精度にプログレッシブ信号に変換・生成する新I/P変換回路を導入。

■斜め線補正処理回路を搭載

フィールド内の上下方向だけでなく、斜め方向の相関を検出して、最適な補間をすることで、斜め方向のギザギザのノイズ発生を抑え滑らかな映像を再現します。

■フォーカス調整をサポートする新機能

・FOCUS-IN-RED 機能

フォーカスが合った映像部分を赤色表示して、わかりやすく表示しますので、カメラのフォーカス調整が非常に容易になります。

・PIXEL TO PIXEL 機能

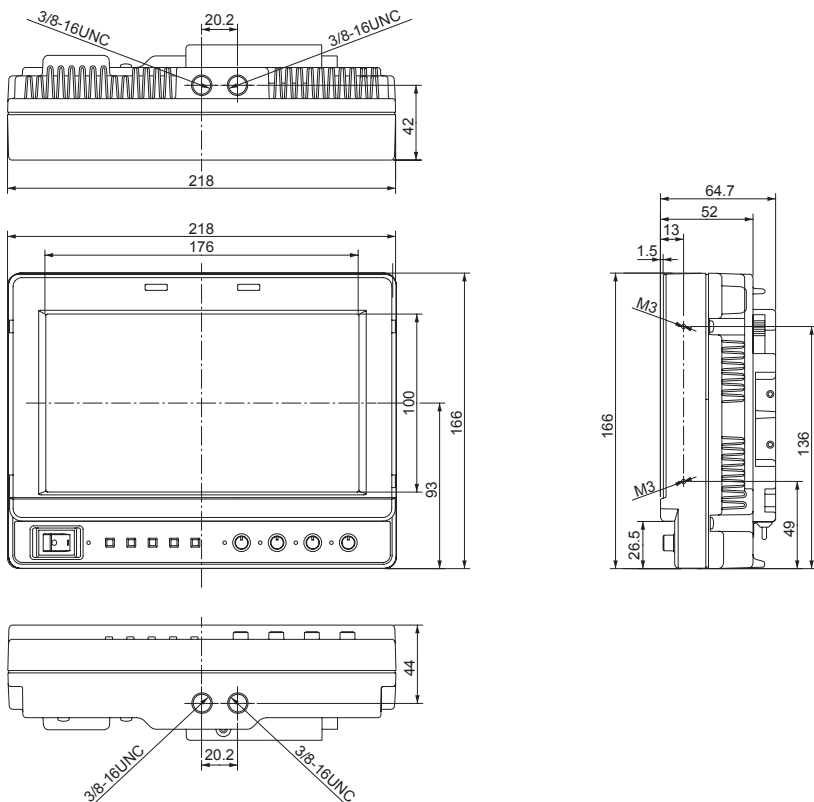
入力された信号をリサイズすることなく表示しますので、カメラのフォーカス調整が非常に容易になります。リサイズを行わない場合、1080/60i信号は、約19インチワイド相当に拡大して確認できます。

■薄型・軽量・コンパクト、低消費電力

LCDパネルの薄型・軽量という特徴を活かした奥行き64.7 mm、1.5 kgのコンパクトボディ。さらにHD対応で低消費電力を実現しています。

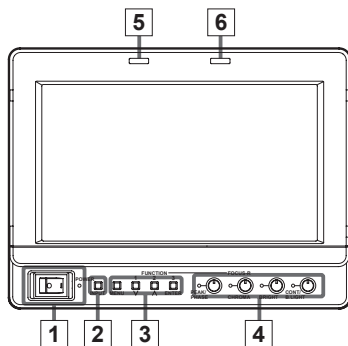
寸法図

単位：mm



各部の名称と機能

前面



1 POWER スイッチ／ランプ

電源を ON / OFF します。電源 ON 時にランプ（緑）が点灯します。

2 INPUT SELECT ボタン

信号の入力ラインを選択します。

押すたびに YP_BP_R → VF-YP_BP_R/VF-VIDEO → VIDEO → SDI の順に切り換えることができます。

YP_BP_R : アナログコンポーネント入力

VF-YP_BP_R / VF-VIDEO *1 : ビューファインダー入力

VIDEO : ビデオ入力

SDI *2 : シリアルデジタルインターフェース入力 (HD/SD 対応)

•電源 ON 時の入力ラインは、最後の電源 OFF 時に選択していたものになります。

また、INPUT のメニュー設定により、使用しない入力ラインをスキップすることができます。

•コントロールロック時は、入力ライン選択はできません。

*1 ビューファインダー入力の YP_BP_R/VIDEO の切換はメニューで設定します。

*2 別売品 BT-YA80G 取り付け時のみ選択できます。

3 MENU、FUNCTION ボタン

メニューの表示、設定の選択・調整とメニューで選択された項目を実行します。

MENU : メニューを表示する / メニューを抜ける、または 1 つ前のメニュー画面に戻るときに押します。

V / FUNCTION 1 : カーソルの下方向への移動と項目を選択します。

また、FUNCTION 1 にメニューで選択した項目を実行します。

^ / FUNCTION 2 : カーソルの上方向への移動と項目を選択します。

また、FUNCTION 2 にメニューで選択した項目を実行します。

ENTER / FUNCTION 3 : 設定を確認、またはサブメニューへ入るときに押します。

また、FUNCTION 3 にメニューで選択した項目を実行します。

•コントロールロック時は鍵マークが現れ、FUNCTION 動作は受け付けません。

4 画像調整つまみ／ランプ

PEAK [PEAKING] 0 ~ 30(0) / PHASE 0 ~ 60(30)

CHROMA 0 ~ 60(30) / FOCUS-R (→29 ページ) 0 ~ 30(25)

BRIGHT 0 ~ 60(30)

CONT [CONTRAST] 0 ~ 60(50) / B.LIGHT [BACKLIGHT] 0 ~ 60(60) () : 工場出荷時の値
プッシュ式の回転つまみです。つまみを押すと、画像調整つまみの状態が表示され調整ができます。

再度つまみを押すと設定値を保存します。

工場出荷時の値から設定値を変更すると、つまみ横のランプ（アンバー）が点灯します。

本機は電源 ON 時に設定値を読み込みます。つまみを押すたびに、または設定値変更後 10 秒経過すると設定値を保存します。ただし、下記の場合は操作変更できません。

•コントロールロック時は鍵マークが現れ、設定値の変更はできません。

•「PEAK」 / 「PHASE」、 「CONT」 / 「B. LIGHT」 はメニューで選択された項目のみ調整できます。

•MONO 機能 ON 時「PHASE」と「CHROMA」の操作は無効となります。

•「FOCUS-R」は、FOCUS-IN-RED 機能動作時に有効となります。

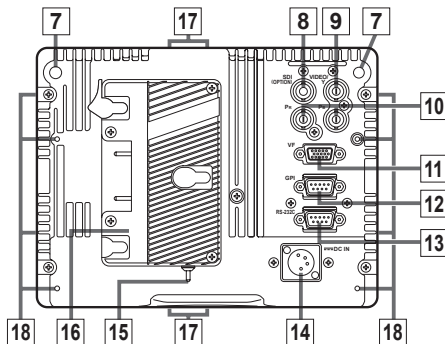
•BLUE ONLY 時は PEAK / PHASE つまみは PHASE になります。

5 R タリ（赤色） GPI / カメラからの制御信号により点灯させることができます。

6 G タリ（緑色） GPI / カメラからの制御信号により点灯させることができます。

各部の名称と機能 (つづき)

後面



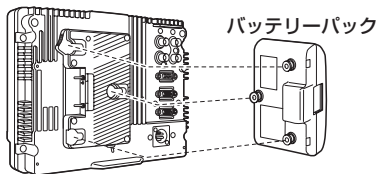
- 7 REARタリー (赤色)**
GPI / カメラからの制御信号により点灯させることができます。
- 8 SDI (HD/SD) 入力端子 (BNC) - オプション**
SDI入力端子です。(HD/SD自動切り換え対応)
•本入力をご希望のお客様はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 9 VIDEO/Y入力端子 (BNC)**
VIDEO信号 (コンポジット信号) 入力端子 / Y入力端子です。
- 10 PbPr入力端子 (BNC)**
PbPr信号 (アナログコンポーネント信号) 入力端子です。
- 11 VF端子 (D-SUB 15ピン)**
パナソニック製放送業務用カメラのVF (ビューファインダー) 端子に接続します。
カメラのビューファインダーとしてご利用できます。
- 12 GPI入力端子 (D-SUB 9ピン)**
GPI信号により外部操作が可能です。
- 13 RS-232C端子 (D-SUB 9ピン)**
RS-232Cインターフェースにより外部操作が可能です。
- 14 DC IN端子 (XLR 4ピン)**
外部DC電源入力端子です。
バッテリーと同時に接続された場合は外部入力が優先されます。
- 15 ライトコントロールスイッチ**
本機では使用できません。
- 16 バッテリーホルダー**
アントンパワー製のバッテリー用のホルダーです。
- 17 三脚固定用ビス穴**
本体上部と下部に、三脚固定用のビス穴 (3/8-16UNC対応) が各2個ずつあります。また本体下部のビス穴の1つには、着脱可能なビススペーサーが装着されており、1/4-20UNCのビスに対応しています。三脚側の固定ビス径に合わせてお使いください。
- 18 固定用ビス穴**
マウンター固定用のビス穴 (M3) が左右に2カ所、背面に4カ所あります。

電源について

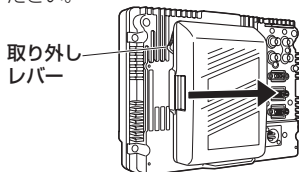
本機はアントンパワータイプ、Vマウントタイプのバッテリーパックや、外部DC電源をお使いいただけます。

アントンパワータイプのバッテリー使用

1. アントンパワータイプのバッテリーパックを取り付けます。



2. 差し込んでから、矢印の方向にスライドさせてください。

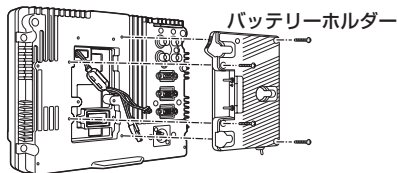


<ご参考> バッテリーパックを取り外すには
バッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

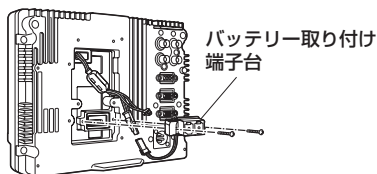
Vマウントタイプのバッテリー使用

バッテリーホルダーを交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

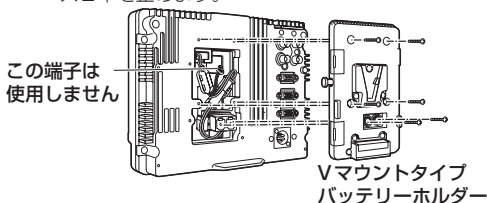
1. 本機からバッテリーホルダーを外します。



2. 付属品のバッテリー取り付け端子台を取り付けます。

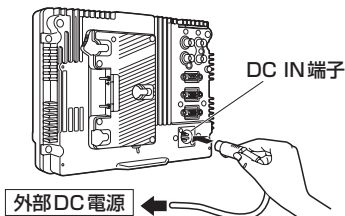


3. VマウントタイプバッテリーホルダーをVマウントタイプバッテリーホルダーに同梱されているビス4本（長さ8 mm）で止め、さらに端子部のビス2本を止めます。

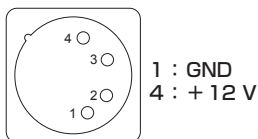


外部DC電源の使用

1. 本機のDC IN端子と外部DC電源を接続します。



DC IN端子



<ノート>

- DCケーブルは、2 m以内の長さのシールドケーブルを使用してください。2 mを超える長さのDCケーブルを使用すると、画面にノイズが発生することがあります。
- バッテリーパックと外部DC電源の両方を接続した場合、外部DC電源からの電源供給が優先されます。外部DC電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- 定格を超える入力電圧では、正確に電圧表示されません。

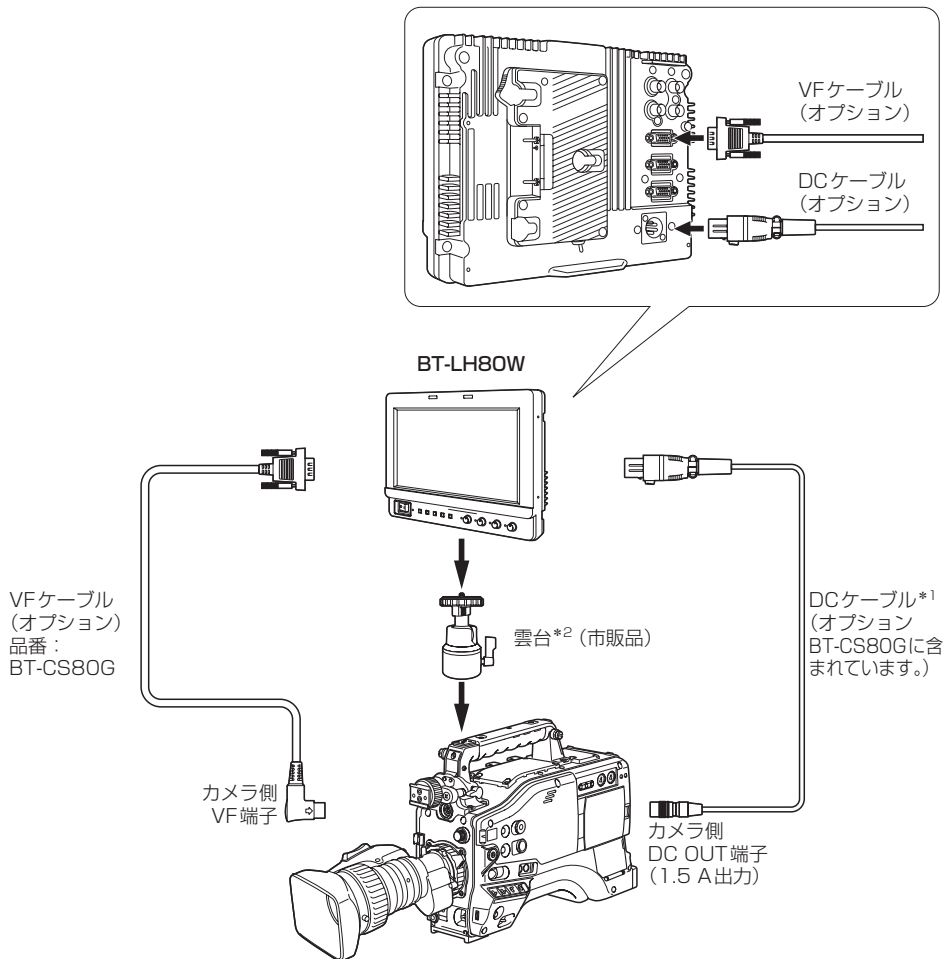
2. 外部DC電源の電源スイッチを「ON」にします。（外部DC電源に電源スイッチがある場合）

3. 本機のPOWERスイッチを「ON」にします。

外部DC電源を使用するときは、必ず、外部DC電源の定格をご確認の上、本機に適合するものを使用してください。外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災やけがの原因になります。

VF 機能

本機はパナソニック製放送業務用カメラに接続してVF（ビューファインダー）として使用できます。



*1 DC電源供給 (出力電流 1.5 A) 可能な放送業務用カメラレコーダー

AJ-HDC27H
AJ-HDX400A
AJ-HDX900
AJ-HPX2100
AG-HPX555

その他のカメラおよびカメラレコーダーについては出力電流 1 A または 0.1 A のためご利用できません。
バッテリーまたは外部 DC 電源をご利用ください。

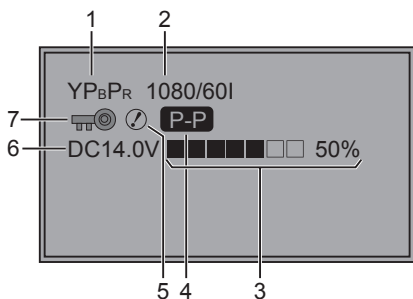
今後発売される放送業務用カメラレコーダーについては、販売店にご相談ください。

*2 雲台は本機の重量 (1.5 kg) に十分耐えられるものをご使用ください。

オンスクリーンメニューの操作

画面上に、動作ステータス表示、画像調整つまみの状態、シャープネス表示、FUNCTION表示、DC電源電圧とバッテリー残量表示、メニュー表示の6種類の情報を表示します。

動作ステータス表示



1. 選択されている入力ライン (→ 10 ページ, [2])

- YPbPr, VF-YPbPr/VF-VIDEO, VIDEO, SDI

2. 信号フォーマット

- 「SYSTEM CONFIG」メニューの「STATUS DISPLAY」で表示状態を設定できます (→ 23 ページ)。
- 「UNSUPPORT SIGNAL」と表示したときは、サポートされていない信号が入力されています。または、入力信号が「INPUT SELECT」メニューのフォーマット設定と異なっています。
- 「NO SIGNAL」と表示したときは、信号が入力されていません。

3. バッテリー残量表示

- アントンパワアータイプのデジタルバッテリー使用時はバッテリー残量が■数と%で表示されます。

4. 各種表示 (PIXEL TO PIXEL モード)

- 画像表示が PIXEL TO PIXEL のとき、表示されます。

5. 各種表示 (カメラ設定変則動作状態警告)

- カメラ設定の変則動作状態を表示します。

6. DC電源電圧表示

- DC電源電圧が表示されます。

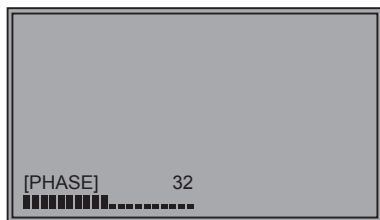
7. 各種表示 (ロック設定)

- フロント操作がロック時に表示されます (→ 32 ページ)。

<ノート>

「UNSUPPORT SIGNAL」と「NO SIGNAL」の表示は、正しく表示されない場合があります。

画像調整つまみの状態



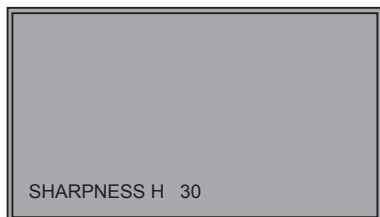
画像調整つまみ (→ 10 ページ, [4])

- プッシュ式の回転つまみです。
- つまみを押すと状態表示が現れます。再度つまみを押す、または 10 秒間操作が行われなかったときは、表示が消えます。
- 表示中は、設定を調節できますが、表示が消えているときは、設定を調節できません。

状態表示：

PEAKINGまたはPHASE
CHROMAまたはFOCUS-IN-RED
BRIGHT
CONTRASTまたはBACKLIGHT

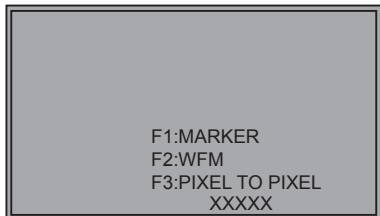
シャープネス表示



- SHARPNESS H / V 設定時に表示します。
- 2分間操作が行われなかったときは表示が消えます。

オンスクリーンメニューの操作 (つづき)

FUNCTION表示



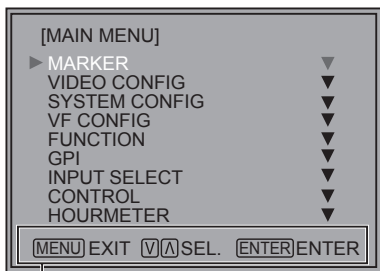
- メニューにより表示設定できます。
- 「FUNCTION DISPLAY」(→25ページ)が「ON1」「ON2」のとき、「FUNCTION1」から「FUNCTION3」のいずれかのボタンを押すと、FUNCTION に設定された項目の状態を表示します。
- 2 秒間操作が行われなかったときは表示が消えます。
- 「XXXXX」には動作状態が表示されます(→26ページ「FUNCTION ボタン操作時に画面表示される動作状態について」)。

DC 電源電圧とバッテリー残量表示



- DC電源電圧が表示されます。
- バッテリー残量表示は、アンontonパワータイプのデジタルバッテリー使用時に表示されます。
- 動作ステータス表示がされていないとき、表示されません。

メニュー表示



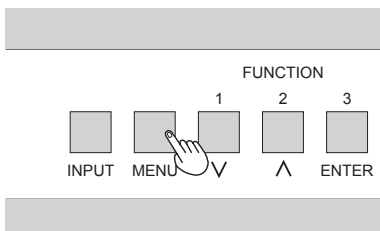
メニューボタンの操作説明が表示されます。

- メニュー操作時に表示します。
- 2分間操作が行われなかったときは表示が消えます。

オンスクリーンメニューの操作 (つづき)

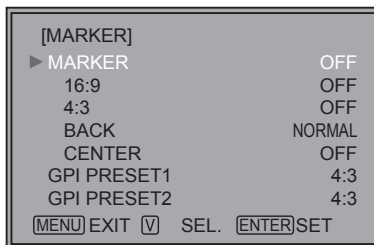
メニュー操作

1. [MENU] を押して MAIN メニューを表示させる。

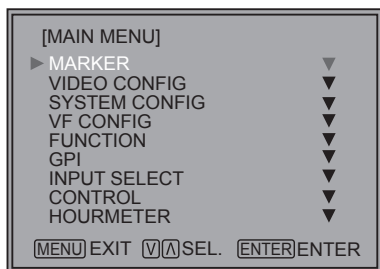


3. [V, ^] を押してサブメニューを選び、[ENTER] を押す。

サブメニューの設定値が緑に変わります。

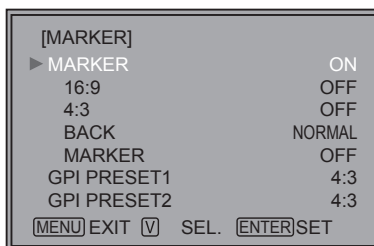


2. [V, ^] を押してメニューを選び、[ENTER] を押す。



4. [V, ^] を押して設定値を選び、[ENTER] を押す。

キャンセルするには [MENU] を押します。



一つ前の画面に戻るには
[MENU] を押す。

ユーザーデータ

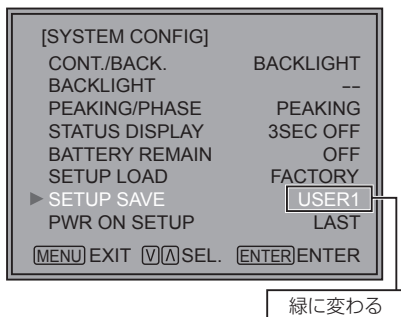
本機は、メニューの設定値や画像調整つまみで行った画面の調整値の組み合わせを、ユーザーデータとして5つまで保存・呼び出しできます。また、設定値や調整値を工場出荷時の設定に戻すこともできます。

ユーザーデータには次の設定が含まれます。

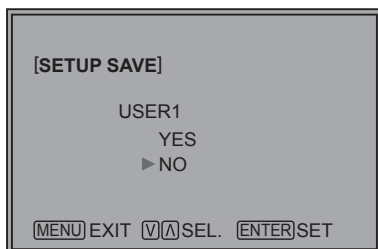
- 「SETUP LOAD/SAVE」、「CONTROLのREMOTE」を除くメニュー設定（本機前面のボタンの機能設定を含む）
- 画像調整つまみで行った画面の調整値

ユーザーデータの保存

1. [MENU] を押し、MAINメニューを表示させる。
2. [V, ^] を押し「SYSTEM CONFIG」メニューを選び、[ENTER] を押す。
3. [V, ^] を押し「SETUP SAVE」サブメニューを選び、[ENTER] を押す。
サブメニューの設定値が緑に変わります。



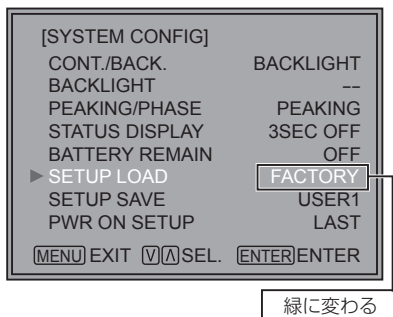
4. [V, ^] を押し「USER1」～「USER5」から保存するファイルを選び、[ENTER] を押す。
下の画面が現れます。



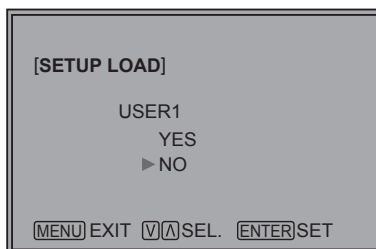
5. 「YES」を選んで[ENTER]を押す。
ユーザーデータが保存されます。

ユーザーデータの呼び出し

1. [MENU] を押し、MAINメニューを表示させる。
2. [V, ^] を押し「SYSTEM CONFIG」メニューを選び、[ENTER] を押す。
3. [V, ^] を押し「SETUP LOAD」サブメニューを選び、[ENTER] を押す。
サブメニューの設定値が緑に変わります。



4. [V, ^] を押し「USER1」～「USER5」から呼び出すファイルを選び、[ENTER] を押す。
下の画面が現れます。
工場出荷時の設定に戻すには、「FACTORY」を選びます。

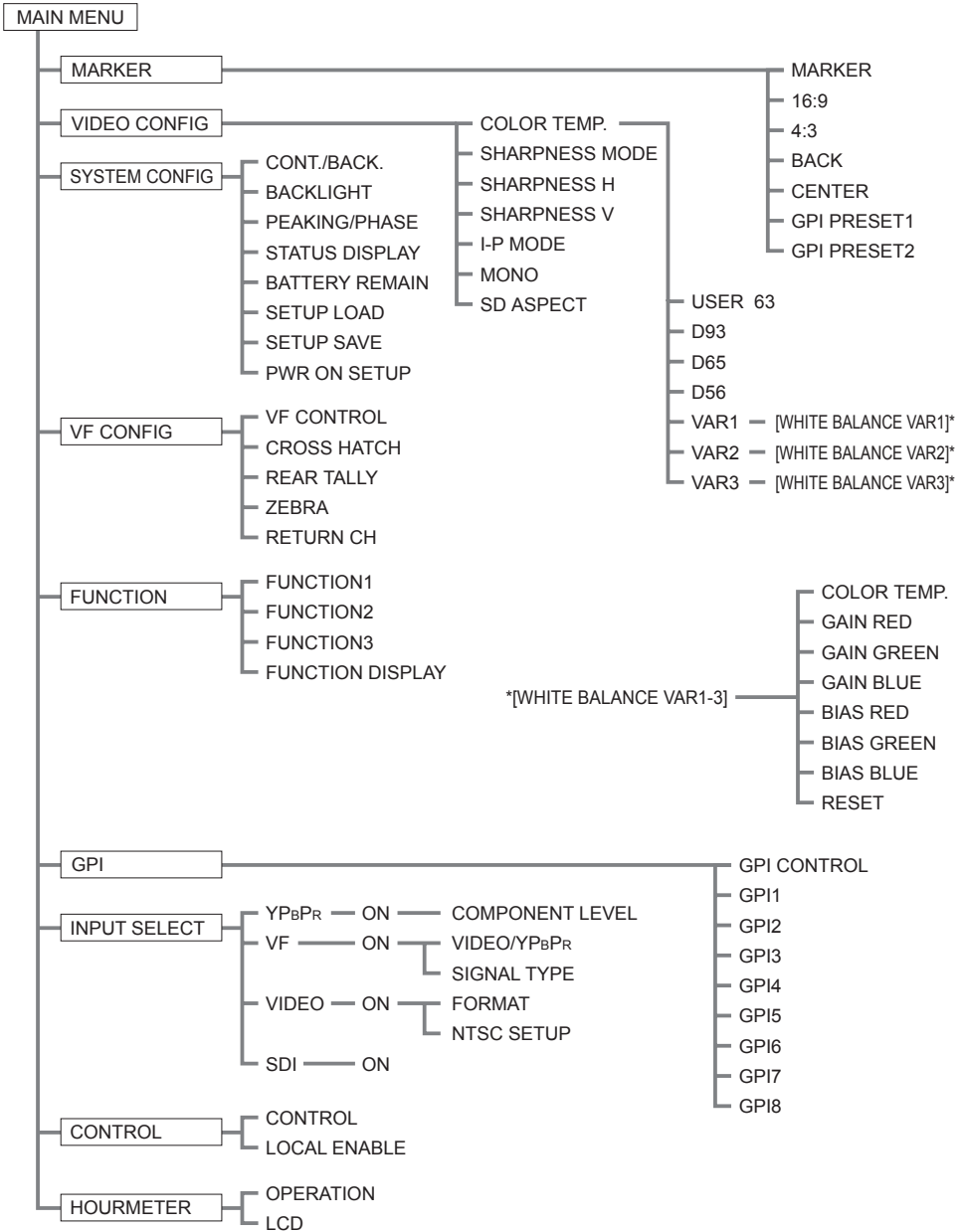


5. 「YES」を選んで[ENTER]を押す。
ユーザーデータが読み込まれます。

一つ前の画面に戻るには
[MENU] を押す。

メインメニュー

メニュー構成



メインメニュー (つづき)

MARKER

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
MARKER	OFF *1 ON	MARKERの設定を有効にします。
16:9 *2 *3	OFF 4:3 13:9 14:9 CNSCO VISTA 95% 93% 90% 88% 80%	アスペクト設定が16:9の場合のマーカー種類を選択/表示します。 <OFF> マーカー表示なし <4:3> 4:3 マーカー <13:9> 13:9 マーカー <14:9> 14:9 マーカー <CNSCO> CNSCO マーカー <VISTA> VISTA マーカー <95%> 95% エリアマーカー <93%> 93% エリアマーカー <90%> 90% エリアマーカー <88%> 88% エリアマーカー <80%> 80% エリアマーカー
4:3 *2	OFF 95% 93% 90% 88% 80%	4:3のマーカー種類を選択/表示します。 <OFF> マーカー表示なし <95%> 95% エリアマーカー <93%> 93% エリアマーカー <90%> 90% エリアマーカー <88%> 88% エリアマーカー <80%> 80% エリアマーカー
BACK *2	NORMAL HALF BLACK	マーカー外の背景輝度を選択します。 <NORMAL> 通常背景 <HALF> 背景輝度50% <BLACK> 背景輝度0% (黒)
CENTER *2	OFF ON	センターマーカーを表示します。 <OFF> 表示なし <ON> 表示あり
GPI PRESET1 *4	4:3 13:9 14:9 CNSCO VISTA	GPI PRESET1: GPI端子の「MARKER1 ON/OFF」(→33ページ)操作で表示するマーカーを選択します。 GPI PRESET2: GPI端子の「MARKER2 ON/OFF」(→33ページ)操作で表示するマーカーを選択します。
GPI PRESET2 *4	95% (16:9) 93% (16:9) 90% (16:9) 88% (16:9) 80% (16:9) 95% (4:3) 93% (4:3) 90% (4:3) 88% (4:3) 80% (4:3)	<4:3> 4:3 マーカー <13:9> 13:9 マーカー <14:9> 14:9 マーカー <CNSCO> CNSCO マーカー <VISTA> VISTA マーカー <95% (16:9)> 16:9時の95%エリアマーカー <93% (16:9)> 16:9時の93%エリアマーカー <90% (16:9)> 16:9時の90%エリアマーカー <88% (16:9)> 16:9時の88%エリアマーカー <80% (16:9)> 16:9時の80%エリアマーカー <95% (4:3)> 4:3時の95%エリアマーカー <93% (4:3)> 4:3時の93%エリアマーカー <90% (4:3)> 4:3時の90%エリアマーカー <88% (4:3)> 4:3時の88%エリアマーカー <80% (4:3)> 4:3時の80%エリアマーカー

•VFライン時はマーカー表示しません。

•マーカー表示サイズはカメラレコーダーの表示サイズのため、従来機種 (BT-LH900A) に比べて小さくなります。

*1 REMOTE時MARKER関連の制御が来た場合は「ON」になります (GPI設定の場合は、GPI優先になります)。

*2 マーカーの設定をGPI機能 (→33ページ) を使って制御するときは、ここでの設定は無効になります。


*3 HD信号とSD信号でアスペクト設定が16:9の場合はのみ有効です。

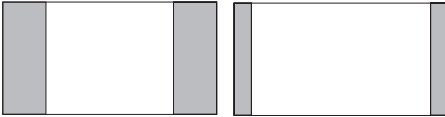
*4 HD信号とSD信号でアスペクト設定が16:9の場合は、中央4:3エリアに4:3マーカーを表示します。

MARKERの種類

■ 16:9用マーカ-

(HD時、およびアスペクト16:9のSD時に表示)

マーカ-は縦線のみ、表示されます。また、部が「MARKER BACK」項目となります。



4:3 マーカ-

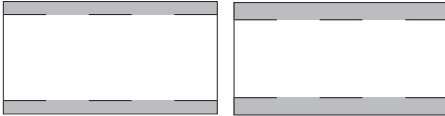
13:9 マーカ-



14:9 マーカ-

VISTA マーカ-、CNSCO マーカ-

横の点線がマーカ-として表示されます。

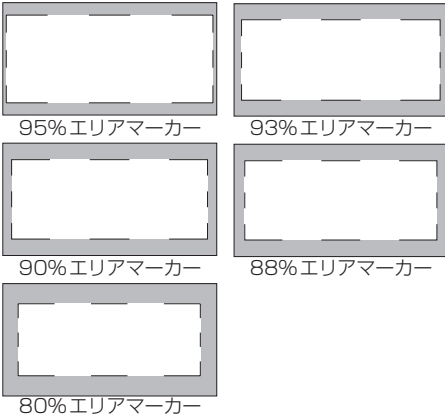


VISTA マーカ-

CNSCO マーカ-

エリアマーカ-

点線がマーカ-として表示されます。



95% エリアマーカ-

93% エリアマーカ-

90% エリアマーカ-

88% エリアマーカ-

80% エリアマーカ-

■ 4:3用マーカ-

(アスペクト4:3のSD時に表示)

点線がマーカ-として表示されます。



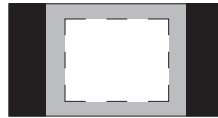
95% エリアマーカ-

93% エリアマーカ-



90% エリアマーカ-

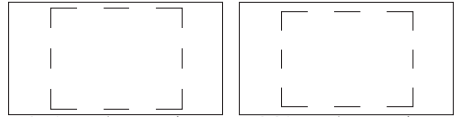
88% エリアマーカ-



80% エリアマーカ-

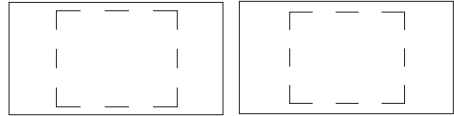
(HD時、およびアスペクト16:9のSD時に表示)

点線がマーカ-として表示されます。



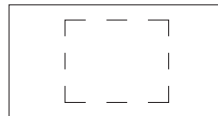
95% エリアマーカ-

93% エリアマーカ-



90% エリアマーカ-

88% エリアマーカ-

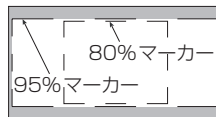


80% エリアマーカ-

※ 16:9用のマーカ-と同時に表示することが可能です。同時表示の例

部が「MARKER BACK」項目となります。

16:9で選択されているマーカ-の背景を制御します。



16:9 マーカ- :

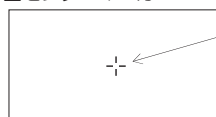
95% エリアマーカ-

4:3 マーカ- :

80% エリアマーカ-

■ センターマーカ-

センターマーカ-
画像の中心に表示されま
す。



メインメニュー (つづき)

VIDEO CONFIG

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
COLOR TEMP.	USER 63* ¹	色温度を選びます。 <USER 0 ~ 63> 可変設定 0 ~ 63 (色温度 3000K ~ 9300K 相当)
	D93	<D93> 色温度 9300K 相当
	D65	<D65> 色温度 6500K 相当
	D56	<D56> 色温度 5600K 相当
	VAR1	<VAR1> WB 調整モード* ²
	VAR2	<VAR2> WB 調整モード* ²
VAR3	<VAR3> WB 調整モード* ²	
SHARPNESS MODE	HIGH* ³	輪郭補正のエッジの幅を選びます。 <HIGH> 細かいエッジ
	LOW	<LOW> 太いエッジ
SHARPNESS H	0 ~ 30* ³	水平方向の輪郭補正值を設定します。調整時、項目表示が画面下部に移動します。
SHARPNESS V	0 ~ 30* ³	垂直方向の輪郭補正值を設定します。調整時、項目表示が画面下部に移動します。
I-P MODE	MODE2 MODE1	IP 変換モードを選びます。(→ 22 ページ「IP モードについて」) <MODE2> Field 内補間 <MODE1> Frame 内補間
MONO* ⁴	OFF ON	カラー / 白黒 (MONO) を切り換えます。 <OFF> カラー <ON> 白黒 ※ ON 時は画像調整つまみの CHROMA 設定は 0 に固定されます。
SD ASPECT* ⁴	4:3	SD 信号入力時にアスペクト設定をします。 <4:3> 4:3 表示
	16:9	<16:9> 16:9 表示

*1 USER 0 ~ 63 を選ぶときは

① [ENTER] を押す (USER が水色になります)。 ② [V, ^] で 0 ~ 63 を選び、[ENTER] を押す。

*2 「VAR1」、「VAR2」、「VAR3」を選ぶと WB 調整モードに入ります (→ 22 ページ)。

*3 シャープネス値は、

① VIDEO 系入力ライン (VIDEO)

(工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : LOW、SHARPNESS H/V : 0)

② それ以外の入力ラインの HD

(工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : HIGH、SHARPNESS H/V : 0)

③ それ以外の入力ラインの SD

(工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : LOW、SHARPNESS H/V : 0)

の値をそれぞれ設定でき、そのうち選択中の入力信号の設定値を表示します。選択時は、右下に調整状態を表示します。

*4 GPI 制御時は、設定項目がグレー表示となり、GPI 制御に連動し表示が変わります。

メインメニュー（つづき）

IPモードについて

「MODE1」はFrame内補間を行ってIP変換するモードです。

従来のFrame内補間は1フレーム以上の遅延がありましたが、本機では1フィールド以内の遅延に抑えています。

工場出荷時は「MODE1」の設定になっており、通常は、このモードでのご使用をおすすめします。映像によっては、ごくまれに画面にノイズが発生することがありますが、このようなときには、「MODE2」をご使用ください。

「MODE2」はField内補間を行ってIP変換するモードです。

それぞれのField内でのみ補間を行うため、インターレースの状態を確認するのに適したモードです。

静止画等の映像によってはちらつきが生じる場合がありますが、このようなときには、「MODE1」をご使用ください。

■WB調整モード

「VIDEO CONFIG」メニューの「COLOR TEMP.」で「VAR1」～「VAR3」を選ぶと、「WHITE BALANCE VAR1」～「WHITE BALANCE VAR3」(WB)の調整ができます。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
COLOR TEMP.* ¹	USER 0 ~ 63 D93 D65 D56	調整の元となる色温度を選びます。 <USER 0 ~ 63> 可変設定0 ~ 63 (色温度3000K ~ 9300K相当) <D93> 色温度9300K相当 <D65> 色温度6500K相当 <D56> 色温度5600K相当
GAIN RED	0 ~ 511	REDのGAIN成分を調整します。* ²
GAIN GREEN	(工場出荷時の設定値は色温度<D65>の値)	GREENのGAIN成分を調整します。* ²
GAIN BLUE	*工場出荷時の調整値が設定されます。	BLUEのGAIN成分を調整します。* ²
BIAS RED	-512 ~ 511	REDのBIAS成分を調整します。* ²
BIAS GREEN	(工場出荷時の設定:0)	GREENのBIAS成分を調整します。* ²
BIAS BLUE		BLUEのBIAS成分を調整します。* ²
RESET		「GAIN RED」～「BIAS BLUE」を「COLOR TEMP.」で選択した色温度の値にリセットします。

*¹ 「COLOR TEMP.」を選択し、項目を変え[ENTER]を押すと確認画面に変わります。このとき、「YES」を選択して、[ENTER]を押すと選択中のGAIN値やBIAS値は選択した色温度の値にリセットされます。

*² 調整時、項目表示が画面下部に移動します。

メインメニュー (つづき)

SYSTEM CONFIG

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
CONT. /BACK.	<u>BACKLIGHT</u> CONTRAST	CONT/B.LIGHT (前面つまみ) に割り当てる機能を選択します。 <BACKLIGHT> BACKLIGHTの調整ができます。 <CONTRAST> CONTRASTの調整ができます。
BACKLIGHT	0 ~ 60	液晶のバックライトの明るさを調整します。 <ノート> CONT./BACK. が BACKLIGHT 設定時には “-” を表示します。
PEAKING/PHASE	<u>PEAKING</u> PHASE	PEAK/PHASE (前面つまみ) に割り当てる機能を選択します。 <PEAKING> PEAKING 機能を割り当てます。 <PHASE> PHASE 機能を割り当てます。
STATUS DISPLAY	CONTINUE <u>3SEC OFF</u> *1 OFF	ステータスディスプレイの表示時間を設定します。 <CONTINUE> 常に表示します。 <3SEC OFF> 3秒間表示します。 <OFF> 表示しません。
BATTERY REMAIN	OFF ON	バッテリー残量表示の有無を選択します。 <OFF> 表示しません。 <ON> 表示します。
SETUP LOAD	<u>FACTORY</u> USER1 USER2 USER3 USER4 USER5	保存されている工場出荷設定値 (FACTORY) またはユーザーデータ (USER1 ~ USER5) を読み込みます。 <FACTORY> 工場出荷設定。 <USER1-5> USER 保存データ*2。 工場出荷時の USER1-5 のデータは工場出荷設定と同じです。
SETUP SAVE	USER1 USER2 USER3 USER4 USER5	ユーザーデータを保存します。 現在のメニュー設定値、画質調整つまみの設定値を5つまで保存できます。
PWR ON SETUP	LAST FACTORY USER1 USER2 USER3 USER4 USER5	電源ON時の設定を選択します。 <LAST> 前回の電源OFF時の設定で起動します。 <FACTORY> FACTORY 設定で起動します。 <USER1-5> USER 保存された設定値で起動します。

*1 ④ (カメラ設定変則動作状態警告時)、**P-P** (PIXEL TO PIXEL) 状態表示時は CONTINUE となります。

*2 CONTROL が REMOTE 設定の場合 USER 保存できません。

メインメニュー（つづき）

VF CONFIG

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
VF CONTROL	VF-CH ALL-CH	モニターのVF機能を制御する入力ラインを選択します。 (VF機能：タリーランプの点灯、ゼブラ表示、  の表示) <VF-CH> VFライン選択時のみ有効になります。 <ALL-CH> すべての入力ラインで有効になります。
CROSS HATCH	HIGH LOW OFF	クロスハッチの表示と濃さを設定します。 <HIGH> 70/256 (濃いクロスハッチを表示) <LOW> 20/256 (薄いクロスハッチを表示) <OFF> 表示しません。
REAR TALLY	ON OFF	モニター背面のタリーランプの制御を許可します。 <ON> GPI/カメラからのTALLY制御ON時に点灯します。 <OFF> 点灯しません。
ZEBRA	ON OFF	カメラへZEBRA情報を設定します。 <ON> ON情報を設定します。 <OFF> OFF情報を設定します。
RETURN CH *1 *2	YP _B P _B VF VIDEO SDI	カメラのレンズ部のRETURN (RET) ボタン操作により、信号の入力ラインを選択します。 <ノート> SDIインプットユニット(オプション)なしのとき、SDI項目はグレー表示となり設定できません。

•GPI制御およびRS-232Cとの優先順位は、GPI > VF CONFIG > RS-232 Cとなります。

*1 RETURN CH動作は、VF CONTROLがALL-CH設定時に動作します。INPUT SELECTメニュー（→31ページ）の各入力ラインのON/OFF設定には影響されません。（INPUT SELECTがOFF設定された入力ラインでもRETURN CHで設定された入力ラインは有効です。）

*2 将来のパナソニック製カメラレコーダーで使用する機能です。

メインメニュー (つづき)

FUNCTION

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
FUNCTION1 ~ 3	BLUE ONLY SD ASPECT *1 *2 WFM MARKER *1 *3 PIXEL TO PIXEL *4 PIXEL POS. + *5 PIXEL POS. - *5 FOCUS-IN-RED *4 *7 ZEBRA REAR TALLY *6 CROSS HATCH MONO *1 UNDEF (工場出荷時の設定→ FUNCTION1 : WFM FUNCTION2 : PIXEL TO PIXEL FUNCTION3 : FOCUS-IN-RED)	[FUNCTION1]から[FUNCTION3] (前面ボタン) に割り当てる機能を選択します。 <BLUE ONLY> 赤と緑の信号をカットします。色相 (PHASE)、色の濃さ (CHROMA) を確認することができます。ボタンを押すたびにON/OFFが切り換わります。 <SD ASPECT> 16 : 9と4 : 3を切り換えます。 <WFM> 波形表示画面を表示します。 <MARKER> マーカーを表示します。 <PIXEL TO PIXEL> 画面表示を入力サイズ/表示サイズに切り換えます。 <PIXEL POS. +> PIXEL TO PIXEL表示時に信号表示位置を時計方向に移動、表示します。 <PIXEL POS. -> PIXEL TO PIXEL表示時に信号表示位置を反時計方向に移動、表示します。 <FOCUS-IN-RED> 映像のフォーカスのあった部分を赤色で強調します。 <ZEBRA> ゼブラ表示のON/OFFをカメラに設定します。 <REAR TALLY> リアタリーのON/OFFを設定します。 <CROSS HATCH> 格子模様を表示します。 <MONO> カラーと白黒表示を切り換えます。 <UNDEF> 未定義。
FUNCTION DISPLAY *8	ON1 ON2 *9 OFF	[FUNCTION1]から[FUNCTION3] (前面ボタン) に割り当てている機能を表示します。また、ボタンのアクション(1タッチ、2タッチ、OFF)を選択します。 <ON1> 1タッチで機能表示と機能動作が行えます。 <ON2> 2タッチで機能表示と機能動作が行えます。 <OFF> 機能を表示しません。

•画質調整つまみ表示中にFUNCTIONボタンを押すと、画質調整つまみ表示がキャンセルされFUNCTION動作は受け付けません。メニュー表示中はFUNCTION動作を受け付けません。

- *1 制御設定がGPI時は動作しません。
- *2 設定を変更するとメニュー設定も変更されます。
- *3 MARKERメニュー設定で16 : 9/4 : 3/BACK/CENTERがすべてOFFのとき表示しません。
- *4 SD表示のPIXEL TO PIXEL ON時は、SD ASPECTは切り換えられません。
- *5 PIXEL POSITION位置はバックアップしません。電源ON時常にCENTERとなります。
- *6 カメラからTALLY制御ON時のみ有効です。
- *7 FOCUS-IN-RED動作時、FOCUS-Rつまみにて検出感度を変更できます。
設定範囲は0 ~ 30で数値が高いほど検出感度が強くなります。
- *8 動作状態はON/OFF設定に関係なく表示します。
- *9 ON2設定で機能表示が出ているときにボタン操作で機能動作が行えます。

メインメニュー（つづき）

■ FUNCTIONの各設定に対する制限について

以下の条件の場合、各設定は動作しません。

設定	動作しない条件
SD ASPECT	GPI項目に設定時は動作しません。PIXEL TO PIXEL時は動作しません。 HD表示時中は動作はしません。 上記状態にて操作した場合は、“INVALID FUNCTION”を表示します。
WFM	PIXEL TO PIXELおよびFOCUS-IN-REDモード中は動作しません。 上記状態にて操作した場合は、“INVALID FUNCTION”を表示します。
MARKER	GPI項目に設定時は動作しません。 入力にVFライン選択時は動作しません。 PIXEL TO PIXELおよびFOCUS-IN-REDモード時は動作しません。 上記状態にて操作した場合は、“INVALID FUNCTION”を表示します。
PIXEL TO PIXEL	WFMがON時、およびGPI項目に設定時は動作しません。 上記状態にて操作した場合は、“INVALID FUNCTION”を表示します。
FOCUS-IN-RED	WFMがON時、およびGPI項目に設定時は動作しません。 上記状態にて操作した場合は、“INVALID FUNCTION”を表示します。
MONO	GPI項目に設定時は動作しません。 上記状態にて操作した場合は、“INVALID FUNCTION”を表示します。

■ FUNCTIONボタン操作時に画面表示される動作状態について

[FUNCTION1]から[FUNCTION3]のいずれかのボタンを押したときに、各ボタンに割り当てられた操作により次のような表示をします。

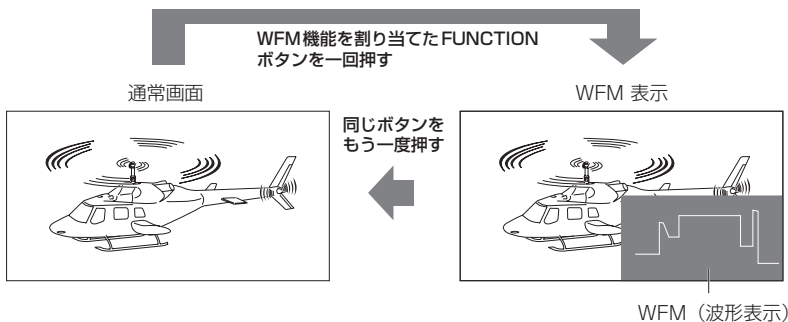
- MARKER
MARKER OFF、4:3 MARKER、13:9 MARKER、14:9 MARKER、VISTA MARKER、
CNSCO MARKER、95% MARKER、93% MARKER、90% MARKER、88% MARKER、
80% MARKER
- PIXEL TO PIXEL / PIXEL POSITION
CENTER、LEFT TOP、LEFT MID、LEFT BOTTOM、MID TOP、MID BOTTOM、RIGHT TOP、
RIGHT MID、RIGHT BOTTOM
- FOCUS-IN-RED
FOCUS-IN-RED OFF、FOCUS-IN-RED ON
- ZEBRA
ZEBRA OFF、ZEBRA ON
- REAR TALLY
REAR TALLY OFF、REAR TALLY ON

メインメニュー（つづき）

■ WFMについて

「WFM」機能を利用すると、波形表示画面を表示することができます。

「WFM」機能を割り当てた[FUNCTION1]から[FUNCTION3]（→25ページ）のいずれかのボタンを押すたびに表示が切り換わります（「WFM」機能を利用するには、[FUNCTION1]から[FUNCTION3]のいずれかに「WFM」機能を割り当てる必要があります）。



画面はアスペクト 16:9 のときのものです。

■ WFMの制限事項

「PIXEL TO PIXEL」、 「FOCUS-IN-RED」機能を使用中は「WFM」は表示されません。

■ PIXEL TO PIXELとPIXEL POS. + / -について

「PIXEL TO PIXEL」機能を利用すると、実際の画素数で、画像が確認できます（HD信号のみ）。

まず、「PIXEL TO PIXEL」を割り当てた[FUNCTION1]から[FUNCTION3]（→25ページ）のいずれかのボタンを押し、機能を「ON」にします。その状態で「PIXEL POS. +」、「PIXEL POS. -」を割り当てた[FUNCTION1]から[FUNCTION3]（→25ページ）のいずれかのボタンを押すと、押すたびに信号表示位置が切り換わります。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
PIXEL TO PIXEL	OFF ON	画面サイズを入力信号サイズで表示する設定にします。
PIXEL POS. + *1 PIXEL POS. - *1	CENTER LEFT TOP LEFT MID LEFT BOTTOM MID TOP MID BOTTOM RIGHT TOP RIGHT MID RIGHT BOTTOM	<p>PIXEL TO PIXELがONのとき、信号表示位置を設定します。</p> <p>HD信号の1080i系</p> <p><CENTER> 画面中央 <LEFT TOP> 画面左上 <LEFT MID> 画面左中央*2 <LEFT BOTTOM> 画面左下 <MID TOP> 画面中央上*2 <MID BOTTOM> 画面中央下*2 <RIGHT TOP> 画面右上 <RIGHT MID> 画面右中央*2 <RIGHT BOTTOM> 画面右下</p> <p>HD信号の720P系</p> <p><CENTER> 画面中央 <LEFT TOP> 画面左上 <RIGHT TOP> 画面右上 <RIGHT BOTTOM> 画面右下 <LEFT BOTTOM> 画面左下</p> <p>SD信号</p> <p><CENTER> 画面中央</p>

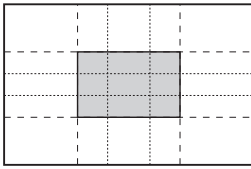
*1 PIXEL POS. + / -動作は次のように動作します。

*2 次ページを参照してください。

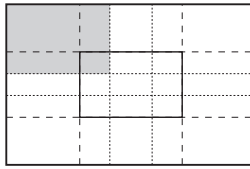
メインメニュー (つづき)

HD信号の1080i系入力時の表示位置順序

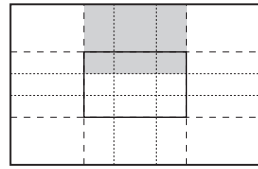
PIXEL POS. + : ①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧→⑨→①
 PIXEL POS. - : ①→⑨→⑧→⑦→⑥→⑤→④→③→②→①



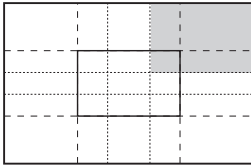
① CENTER



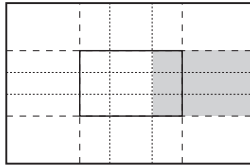
② LEFT TOP



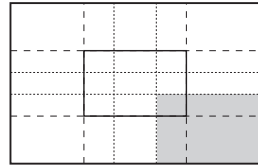
③ MID TOP



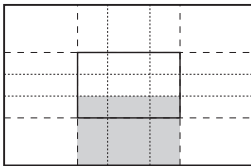
④ RIGHT TOP



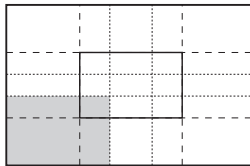
⑤ RIGHT MID



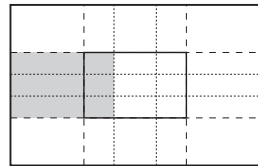
⑥ RIGHT BOTTOM



⑦ MID BOTTOM



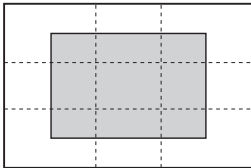
⑧ LEFT BOTTOM



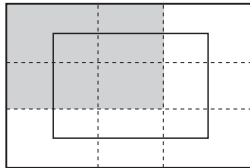
⑨ LEFT MID

HD信号の720P系入力時の表示位置順序

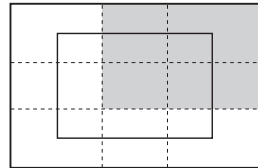
PIXEL POS. + : ①→②→③→④→⑤→①
 PIXEL POS. - : ①→⑤→④→③→②→①



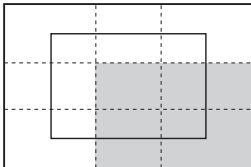
① CENTER



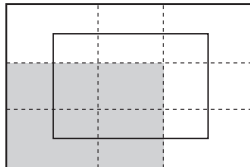
② LEFT TOP



③ RIGHT TOP



④ RIGHT BOTTOM



⑤ LEFT BOTTOM

SD信号入力時の表示位置順序

入力信号を等倍表示しますがPOSITION選択はできません。^{*3}
 16 : 9 時も等倍表示となります。

*2 入力信号フォーマット1080i系から720P系に切り替わったとき、下記表示位置となります。

- ⑨ LEFT MID → ② LEFT TOP
- ③ MID TOP → ① CENTER
- ⑦ MID BOTTOM → ① CENTER
- ⑤ RIGHT MID → ③ RIGHT TOP

*3 水平方向は等倍表示。垂直方向は表示画像の縦横のバランスを配慮しリサイズして表示します。

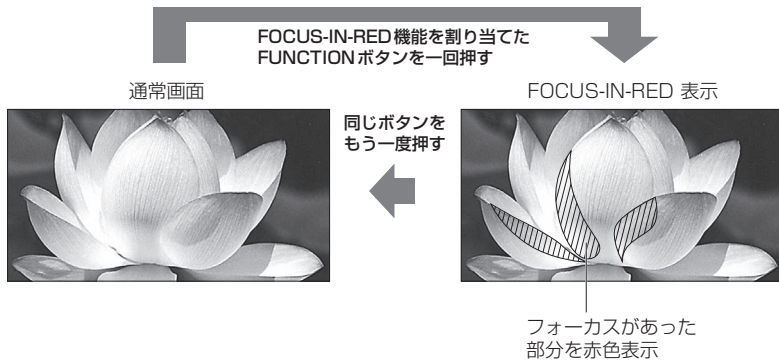
メインメニュー（つづき）

■ FOCUS-IN-RED について

「FOCUS-IN-RED」機能を利用すると、フォーカスが合った部分を赤色でわかりやすく表示し、カメラのフォーカス調整が容易にできます。

「FOCUS-IN-RED」機能を割り当てた[FUNCTION1]から[FUNCTION3]のいずれかのボタンを押すたびに表示が切り換わります（「FOCUS-IN-RED」機能を利用するには[FUNCTION1]から[FUNCTION3]のいずれかに「FOCUS-IN-RED」の機能を割り当てる必要があります）。

「FOCUS-IN-RED」機能表示時に、FOCUS-Rつまみで検出感度のレベル（0～30）を変更できます。数値が大きいほど検出感度が強くなります。



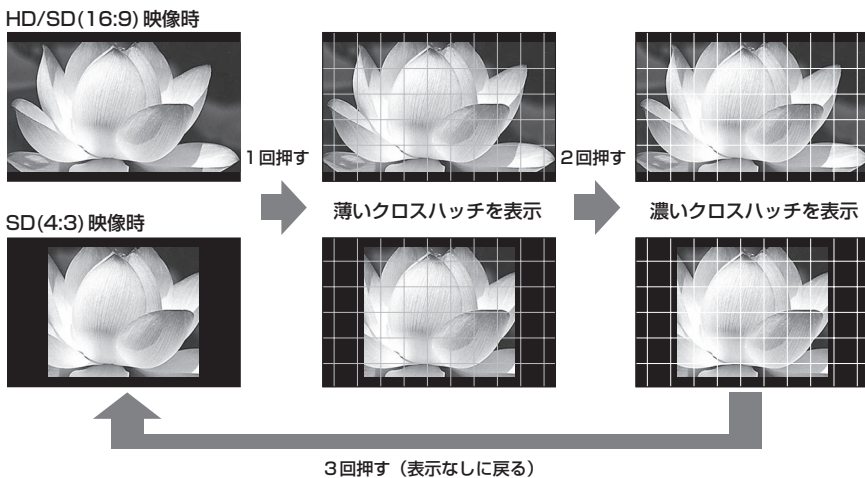
画面はアスペクト 16:9 のときのものです。

■ CROSS HATCH について

「CROSS HATCH」機能を利用すると、一定間隔で縦横にマーカーを表示し、構図などを決めやすくなります。マーカーの線幅は 1 ドット、1 ラインで、間隔は 50 ドット、50 ラインの固定値です。

「CROSS HATCH」機能を割り当てた[FUNCTION1]から[FUNCTION3]のいずれかのボタンを押すたびに表示が切り換わります。

CROSS HATCH機能を割り当てたFUNCTION ボタンを押すたびに次のように切り換わります



メインメニュー（つづき）

GPI

「GPI CONTROL」項目でGPI機能全体の有効/無効を設定し、GPI端子（→33ページ）の各ピンに割り当てる機能をそれぞれ設定します。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
GPI CONTROL	DISABLE ENABLE	GPI機能の有効無効設定 <DISABLE>無効 <ENABLE>有効
GPI1 ~ GPI8	UNDEF MARKER1 ON/OFF MARKER2 ON/OFF MARKER BACK HALF MARKER BACK BLACK CENTER MARKER INPUT SEL. YP _B P _R INPUT SEL. VF INPUT SEL. VIDEO INPUT SEL. SDI SD ASPECT RED TALLY GREEN TALLY MONO PIXEL TO PIXEL FOCUS IN RED	GPI制御端子のピンアサインを設定します。 各端子とも設定できる項目は同じです（→33ページ）。

メインメニュー（つづき）

INPUT SELECT

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
YP _B P _R	ON OFF	INPUT SELECT ボタンに YP _B P _R ラインを設定します。*1
COMPONENT LEVEL	SMPTE B75 B00	YP _B P _R (コンポーネント) 信号の入カレベルを選択します。 <SMPTE> SMPTE で規定された信号レベルでクロマ 100%時に P _B 、P _R =0.7Vp-p となります。 <B75> セットアップ付ベータカム等の接続時に選択します。 <B00> セットアップなしのベータカム等の接続時に選択します。
VF	ON OFF	INPUT SELECT ボタンに VF ラインを設定します。*1
VIDEO/YP _B P _R	VIDEO YP _B P _R	VF の入力モードを選択します。 <VIDEO> VIDEO 信号を選択します。 <YP _B P _R > YP _B P _R (コンポーネント) 信号を選択します。
SIGNAL TYPE	HD SD	カメラからの出力信号選択します。 <HD> HD 信号を選択します。 <SD> SD 信号を選択します。
VIDEO	ON OFF	INPUT SELECT ボタンに VIDEO ラインを設定します。*1
FORMAT	AUTO NTSC PAL	VIDEO の入力フォーマットを選択します。*2 <AUTO> NTSC、PAL のどちらかを自動的に選択します。 <NTSC> NTSC <PAL> PAL
NTSC SETUP	00 75	NTSC のセットアップレベルを設定します。 <75> 7.5% セットアップ付信号時に選択します。 <00> セットアップなし信号時に選択します。
SDI	ON OFF	INPUT SELECT ボタンに SDI ラインを設定します。*1 *3

*1 SDI インพุットユニット (オプション) 装着時、4 つの入カラインすべてを OFF にすることはできません。4 つ目の入カラインの OFF 設定はできません。

SDI インพุットユニット (オプション) なしときは、YP_BP_R、VIDEO、VF の 3 つの入カラインすべてを OFF にすることはできません。3 つ目の入カラインの OFF 設定はできません。

*2 工場出荷の設定は「AUTO」ですが、外部からのノイズ等が入カ信号に混入する恐れがある場合、フォーマットを指定することをおすすめします。

*3 SDI インพุットユニット (オプション) なしとき、SDI 項目はグレー表示となり設定できません。

メインメニュー（つづき）

CONTROL

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
CONTROL	LOCAL REMOTE	操作を選択します。(兼コントロールロック) <LOCAL> フロント操作有効 <REMOTE> リモート操作有効 (フロント操作がロックされます) *1
LOCAL ENABLE	DISABLE INPUT	「CONTROL」で「REMOTE」選択時のフロント操作の有効/無効 を選択します。 <DISABLE> すべてのフロント操作が無効になります。 <INPUT> [INPUT SELECT]ボタン以外の操作は無効になり ます。

- *1 ロック中は、メニュー表示はできません。
ロック中のメニュー設定の変更は、「CONTROL/LOCAL ENABLE」項目のみ可能です。
ロック中は、画像調整つまみを操作しても設定値は変わりません。
ロック中の操作は、「LOCAL ENABLE」の設定に従います。
ロック中は、ステータスに鍵マークが表示されます。



HOURLMETER

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
OPERATION	XXXXXXXXH *1	通電時間を表示します。
LCD	XXXXXXXXH *1	バックライト点灯時間を表示します。

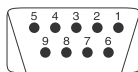
- *1 「XXXXXXXX」には時間が表示されます。
「XXXXXXXX」: 0 ~ 262800H (約30年)、262800H以上は「OVER」と表示されます。

REMOTE仕様

本機はGPI/RS-232C端子を使って、REMOTE操作が可能です。

GPI端子

GPI画面の各項目は、以下の端子に対応しています。メニューのGPI画面で機能を各端子に割り当てることができます(→30ページ)。各端子に割り当てられた機能は、GND(5Pin)に対してショート(ON)かオープン(OFF)かで設定された動作を行います。



GPI 端子 (9P)

ピン番号	信号
1	GPI1
2	GPI2
3	GPI3
4	GPI4
5	GND
6	GPI5
7	GPI6
8	GPI7
9	GPI8

■動作条件

レベル動作：GNDに対して、ショートさせている間に動作します。

エッジ動作：GNDに対して、オープンからショートさせたときに動作します。

※レベル動作する機能を複数の端子に割り当てた場合、いずれかの端子をショートさせている間、その機能は動作し続けます。

割り当て項目	機能	動作条件
UNDEF	未設定 (端子割り当て機能なし)	—
MARKER1 ON/OFF*1	「MARKER」メニューの「GPI PRESET1」(→19ページ)で決められたマーカー表示切り換え	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
MARKER2 ON/OFF*1	「MARKER」メニューの「GPI PRESET2」(→19ページ)で決められたマーカー表示切り換え	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
MARKER BACK HALF*2	「GPI PRESET1」(→19ページ)で表示されているマーカー外の背景の輝度を50%にします。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
MARKER BACK BLACK*2	「GPI PRESET1」(→19ページ)で表示されているマーカー外の背景の輝度を0%にします。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
CENTER MARKER	センターマーカー表示のON/OFFを切り換えます。(他のマーカーが表示されているときは重畳して表示されます)	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
INPUT SEL. VIDEO	入力ラインをVIDEOに切り換えます。	エッジ動作
INPUT SEL. YPbPr	入力ラインをYPbPrに切り換えます。	エッジ動作
INPUT SEL. VF	入力ラインをVFに切り換えます。	エッジ動作
INPUT SEL. SDI	入力ラインをSDIに切り換えます。	エッジ動作
SD ASPECT	SD信号入力時にアスペクト設定をします。(HD信号時は無効)	レベル動作 (ショート：16:9, オープン：4:3)
RED TALLY	赤色タリーを点灯させます。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
GREEN TALLY	緑色タリーを点灯させます。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
MONO	カラー/白黒(MONO)を切り換えます。	レベル動作 (ショート：モノクロ, オープン：カラー)
PIXEL TO PIXEL	画面表示を入力サイズ/表示サイズに切り換えます。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)
FOCUS-IN-RED	映像のフォーカスのあった部分を赤色で表示します。	レベル動作 (ショート：ON, オープン：OFF)

*1 アスペクト16:9の場合、16:9マーカーと4:3マーカーが選択されて同時にONの場合は両方のマーカーを表示します。

*2 16:9マーカーと4:3マーカーを同時に表示しているときは、16:9で選択されているマーカーの背景を制御します。

制限事項

- 入力信号がHD時のSD ASPECTは動作しません。
- VF入力ライン選択時のMARKER項目は動作しません。

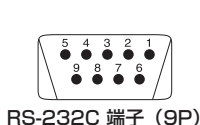
REMOTE仕様 (つづき)

■割り当て項目の優先順位

- 「MARKER1」と「MARKER2」が同時にONとなった場合は、「MARKER1」が優先されます。ただし、表示アスペクトが4:3で「MARKER1」のアスペクトが16:9、「MARKER2」のアスペクトが4:3の場合は、「MARKER2」を表示します。その場合は「MARKER2」に対して背景制御を行います。
- 「MARKER BACK HALF」と「MARKER BACK BLACK」が同時にONとなった場合、「MARKER BACK BLACK」が優先されます。
- 「INPUT SEL. VIDEO」、「INPUT SEL. VF」、「INPUT SEL. SDI」、「INPUT SEL. YP_BP_R」が複数同時にONされた場合は、最後にONになったものが優先されます。

RS-232C 端子

RS-232C端子のピン配列および接続は、下図および右下表を参照ください。
RS-232Cを使用した詳しいシステムに関しては、販売店にご相談ください。



PC側 (ストレート)			BT-LH80W側	
ピン番号	信号		ピン番号	信号
1	N.C.		1	N.C.
2	RXD	←	2	TXD
3	TXD	→	3	RXD
4	DTR	→	4	DSR
5	GND	→	5	GND
6	DSR	←	6	DTR
7	RTS	→	7	CTS
8	CTS	←	8	RTS
9	N.C.		9	N.C.

RS-232CのREMOTE制御方法

■コネクタと信号名

コネクタ：D-SUB 9ピン (メス)

信号名

ピン番号	信号	説明
1	N.C.	未接続
2	TXD	送信データ
3	RXD	受信データ
4	DSR	内部で接続されています。
5	GND	グラウンド
6	DTR	内部で接続されています。
7	CTS	内部で接続されています。
8	RTS	内部で接続されています。
9	N.C.	未接続

■通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期式
転送速度	9600 bps
パリティ	なし
データ長	8ビット
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

■コマンドフォーマット

STX(02h)	コマンド	:	データ	ETX(03h)
----------	------	---	-----	----------

- コマンドはSTXに続く3文字で、最後にETXを付加します。
- 必要に応じてコマンドの後に:(コロン)とデータを付加します。

■応答フォーマット

1.設定コマンド応答

STX(02h)	コマンド	ETX(03h)
----------	------	----------

2.問い合わせコマンド応答

STX(02h)	データ	ETX(03h)
----------	-----	----------

3.エラー応答

STX(02h)	エラーコード	ETX(03h)
----------	--------	----------

エラーコード
ERO01：無効コマンド
ERO02：パラメータエラー

REMOTE仕様 (つづき)

■設定コマンド

No.	コマンド	説明	データ	応答
1	IIS	入力切換	0 : SDI 2 : VIDEO 3 : YP _B P _R 5 : VF	IIS
2	VPC	画質調整	CON00-60 : コントラスト設定 BRI00-60 : ブライトネス設定 CRO00-60 : クロマ設定 PHA00-60 : フェーズ設定	VPC
3	OBO	ブルーオンリー	0 : OFF 1 : ON	OBO
4	VBL	バックライト設定	00-60	VBL
5	DCH	クロスハッチ表示	0 : OFF 1 : LOW 2 : HIGH	DCH
6	DSD	ステータス表示	0 : CONTINUE 1 : 3SEC OFF 2 : OFF	DSD
7	DMK	マーカー設定	16:9 マーカー MK100 : OFF MK101 : 80% MK102 : 88% MK103 : 93% MK104 : 95% MK105 : 14:9 MK106 : 13:9 MK107 : 4:3 MK108 : 90% MK109 : CNSCO MK110 : VISTA 4:3 マーカー MK200 : OFF MK201 : 80% MK202 : 88% MK203 : 93% MK204 : 95% MK208 : 90% マーカー背景 BAKO : NORMAL BAK1 : HALF BAK2 : BLACK センターマーカー CMKO : OFF CMK1 : ON	DMK
8	MCT	色温度設定	00 : D56 01 : D65 02 : D93 03 : VAR1 04 : VAR2 05 : VAR3 10-73 : USER0 ~ 63	MCT
9	VPC	シャープネス設定	SHPO : LOW SHP1 : HIGH SHH00-30 : 水平シャープネス設定 SHV00-30 : 垂直シャープネス設定	VPC
10	MIP	IPモード設定	0 : MODE1 1 : MODE2	MIP
11	OMO	モノクロ設定	1 : OFF 2 : ON	OMO
12	MAS	SDアスペクト設定	0 : 16:9 1 : 4:3	MAS
13	MCO	リモート設定	0 : LOCAL 1 : REMOTE	MCO
14	MLE	リモート時操作設定	0 : DISABLE 1 : INPUT	MLE
15	ISM	VFモードの設定	VFMO: VIDEO VFM1: YP _B P _R	ISM

REMOTE仕様 (つづき)

■問い合わせコマンド

No.	コマンド	説明	データ	応答		
1	QIS	入力選択		0 : SDI 2 : YPbPr 4 : VIDEO 7 : VF-YPbPr 8 : VF-VIDEO		
2	QPC	画質調整	CON : コントラスト設定値	00-60		
			BRI : ブライト設定値	00-60		
			CRO : クロマ設定値	00-60		
			PHA : フェーズ設定値	00-60		
3	QBO	ブルーオンリー		0 : OFF 1 : ON		
4	QMK *1	マーカー	MAK : エリアマーカー	00 : OFF 01 : 80% 02 : 88% 03 : 93% 04 : 95% 05 : 14:9 06 : 13:9 07 : 4:3 08 : 90% 09 : CNSCO 10 : VISTA		
			BAK : 背景	0 : NORMAL 1 : HALF 2 : BLACK		
			CMK : センターマーカー	0 : OFF 1 : ON		
5	QCT	色温度		00 : D56 01 : D65 02 : D93 03 : VAR1 04 : VAR2 05 : VAR3 10-73 : USER0 ~ 63		
6	QPC	シャープネス	SHP : シャープネスモード	0 : LOW 1 : HIGH		
			SHH : 水平シャープネス値	00-30		
			SHV : 垂直シャープネス値	00-30		
7	QPC	IPモード		0 : MODE1 1 : MODE2		
8	QMO	モノクロ		1 : OFF 2 : ON		
9	QAS	アスペクト		0 : 16:9 1 : 4:3		
10	QFR	フォーマット		00 : NO SIGNAL 01 : 1080/60i 02 : 1080/59i 03 : 1080/50i 09 : 1080/24PsF 10 : 1080/23PsF 13 : 720/60P 14 : 720/59P 15 : 576/50i 16 : 480/60P 17 : 480/60i 18 : 576/50P 23 : 720/50P FF : UNSUPPORT SIGNAL		
			11	QBL	バックライト	00-60
			12	QCH	クロスハッチ	0: OFF 1: LOW 2: HIGH
			13	QVF	VFモード	0: VIDEO 1: YPbPr

*1 アスペクト 16:9のときは16:9マーカー、アスペクト4:3のときは4:3マーカーの状態を返します。

保守点検について

保守点検はお客様が安心して本機をご使用いただくために、定期的に適切な保守整備を行い、その機能を常に良好な状態に維持するためのものです。本機の有する機能を未永く、十二分に発揮させるためにも、必ず保守点検を実施していただくようお願い申し上げます。

1. 定期保守サービスの必要性

液晶パネルにはバックライトが使用されています。この部品（消耗部品）は時間経過につれて劣化し、性能低下や故障の原因になります。

このため、単に従来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的サービス、すなわち機器の性能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐため、保守サービスを定期的に行うことが非常に大切であると言えます。

2. メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますので注意してください。

品名	数量	定期保守点検と時間
バックライト 及び液晶パネル	1	10,000 時間ごとに交換*

* バックライト単体の交換はできません。

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品

当社では、LCDビデオモニターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、メンテナンス対象部品につきましては、上記の「保守点検について」の項目をご覧ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。


■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	LCDビデオモニター
品番	BT-LH80W
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

エラー / 警告表示

何らかの原因で本機にエラーなどの異常が起こった場合、次のような表示内容によってエラー／警告をお知らせします。

エラー／警告	表示内容	対処方法
インバーターエラー	画像調整つまみ横のすべてのランプが1秒間隔で点滅します。	電源を一度OFFしてから、再びONにしてください。それでもエラー表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
カメラ設定変則動作状態警告	「  」が表示されます。	カメラの設定値をご確認ください。
バッテリー残量警告	電圧表示が点滅します。	十分に充電したバッテリーと交換してください。
バッテリー残量エラー	「END BATTERY」を約3秒間表示し、電源をOFFします。	十分に充電したバッテリーと交換してください。


お手入れについて

- キャビネットや液晶保護パネル表面の汚れはやわらかい布で軽くふき取ってください。ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。水滴が内部に入ると、故障の原因になります。
- 本機の清掃にベンジン、シンナーなどを使用しないでください。表面が変色したり、塗装が落ちる恐れがあります。
- スプレー洗剤などを直接かけないでください。水滴が内部に入ると故障の原因になります。

定 格

■ 総 合

電 源：DC 12 V (11.0 V ~ 17.0 V) 消費電流：1.5 A

は安全項目です。

外形寸法（幅×高さ×奥行き）： 218 mm × 166 mm × 64.7 mm
重 量： 1.5 kg
動作周囲温度： 0℃～40℃
動作周囲湿度： 10%～85%（結露なきこと）
保存温度： -20℃～+60℃

■ ディスプレイパネル

寸 法： 7.9V型（有効表示部）
アスペクト比： パネル16:9（有効表示部）
ピクセル数： パネル800×450（有効表示部）
ディスプレイカラー： 約1,677万色
視野角： 上下110度、左右120度

■ コネクター部

VIDEO入力： 1系統、BNC×1（アナログコンポーネントY入力端子と共用）
アナログコンポーネント（YPbPr）： 入力1系統、BNC×3（この内、Y入力端子はVIDEO入力端子と共用）
SDI入力： 1系統、BNC×1（オプション）
VF： D-SUB、15ピン×1
GPI： D-SUB、9ピン×1
RS-232C： D-SUB、9ピン×1

定 格 (つづき)

■対応信号フォーマット一覧表 (○：対応、△：制限付対応)

入力信号 フォーマット	VIDEO	VF-VIDEO	VF-YPbPr	YPbPr	SDI*3
NTSC	○	○			
PAL	○	○			
480/59.94i			○	○	○
480/59.94P			○	○	
576/50i			○	○	○
576/50P			○	○	
720/50P			○	○	○
720/59.94P			○	○	○
720/60P			○	○	○
1035/59.94i			△*1	△*1	△*1
1035/60i			△*2	△*2	△*2
1080/23.98PsF			○	○	○
1080/24PsF			○	○	○
1080/50i			○	○	○
1080/59.94i			○	○	○
1080/60i			○	○	○

*1 1035/59.94i入力時は、1080/59.94iとして表示されます。各種マーカー表示も、1080/59.94i用マーカーが表示されます。

*2 1035/60i入力時は、1080/60iとして表示されます。各種マーカー表示も、1080/60i用マーカーが表示されます。

*3 別売品BT-YA80G取り付け時に有効となります。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2007 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

